

2012年11月16日

横浜ゴムの中国蘇州のタイヤ生産販売会社、第一期植樹祭を開催

横浜ゴム（株）の中国のグループ会社である蘇州優科豪馬輪胎有限公司*は10月27日、江蘇省蘇州市の蘇州高新区にある同社工場敷地内で「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの第一期植樹祭を開催した。中国における事業統括会社である優科豪馬橡膠有限公司の田中孝一董事長・總經理、蘇州優科豪馬輪胎の中野茂總經理、同社従業員とその家族のほか、行政環境保護局関係者など計250名により、クスノキ、ネズミモチ、栗の木など20種、約5,000本の植樹が宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）考案の宮脇方式に基づき行われた。蘇州優科豪馬輪胎は優科豪馬橡膠の全額出資により2006年4月に設立されたトラック・バス用タイヤの生産販売会社。

*優科豪馬は中国語読みでヨコハマ。

横浜ゴムは2007年から、創業100周年の2017年までに国内外の全生産拠点に50万本を植樹し杜を創生する「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトを進めている。すでに中国ではタイヤ生産販売を行う杭州優科豪馬輪胎有限公司と自動車用シーラントの生産販売を行う横浜密封材料（杭州）有限公司、各種ホースの生産販売を行う横浜胶管配件（杭州）有限公司の3拠点が合同で2008年11月以降3回の植樹祭を開催。またコンベヤベルトの生産販売を行う山東横浜工業製品有限公司も2011年8月以降2回の植樹祭を開催している。今回の蘇州優科豪馬輪胎の植樹により、2012年10月までの横浜ゴムグループ全体の植樹累計本数は約27万5,330本となった。



参加者による集合写真

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：菊地
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570